

和泉都議 が尽力

工事請負契約の改善が実現 中小建設業の要望を受けて



建築協会新年会にて懇談をする

ロシアのウクライナ侵略と、アベノミクスの失敗による円安が重なり、急激な

物価高騰が起きています。なかでも長い工期にわたる公共事業を受注している中小建設業は、原材料の値上りによって危機にた

だけで、それまでに生まれた赤字は、受注した建設会社が入れるしかない、というのが現状だからです。和泉都議はさっそく、日本共産党都議団と相談して、九月都議会の日本共産党代表質問にこの問題を折り込み、中小建設業を守るように都に迫りました。そして和泉都議はその後も都と折衝をつづけてきました。このほど都は契約条件を変更することになりました。



足立区中央本町 地域体育館を視察



いま、葛飾区は新小岩の私学共済運動場を収容して一五、〇〇〇人の観客を収容できるサッカースタジアムの建設計画をすすめています。しかし、区内には住民が気軽にスポーツをたのしめる各地域の体育施設がありません。



昨年、和泉都議と葛飾区体育協会が懇談した時に、体育協会から身近なところで利用できる地域体育館が欲しい、という要望が出され和泉都議と意見が一致しました。そこで和泉都議は、地域ごとに体育館をつくってき

た足立区を、一月一三日に視察しました。

足立区では区内を九つの地域に分けて計画的に体育館をつくってき

画がつくられたのは一九八一年（昭和五六年）

で、その特徴はどのも図書館が併設されていて、生涯学習センターとして位置づけられていることです。

はじめは区の直営施設でしたが、その後、指定管理者制度が導入され、民間委託となります。しかし民間委託の際、社会教育主事の配置が条件づけられ

七月に葛飾区建築協会と懇談しましたが、その際、中小建設業の実情と「都の公共事業の受発注のやり方を、実情に合うよう改善してほしい」という要望を受けました。

それは公共事業をいったん受注してしまうと、どんなに物価が高騰しても工事が始まってから九ヶ月経たないと契約金額の変更は認められない。しかも契約金額の変更が認められても九ヶ月以降の分

それは人件費を含めて物価が1%以上上昇したら契約金額を見直す、というものです。しかも見直しは契約時点にさかのぼっておこなわれることになりました。

和泉都議が視察したのは足立区中央本町地域体育館でしたが、施設利用率は年間をとおして九割を超えているとのことでした。

視察には木村ひでこ区議、中江秀夫前区議、元葛飾区職員の細谷正幸さんが同行しましたが、お隣の区ですぐれた業績に学んで、巨大施設ばかりに目をむける葛飾区政にも住民の目線が地域体育館をつくらせる必要があるという意見が一致しました。



和泉都議が視察したのは足立区中央本町地域体育館でしたが、施設利用率は年間をとおして九割を超えているとのことでした。

視察には木村ひでこ区議、中江秀夫前区議、元葛飾区職員の細谷正幸さんが同行しましたが、お隣の区ですぐれた業績に学んで、巨大施設ばかりに目をむける葛飾区政にも住民の目線が地域体育館をつくらせる必要があるという意見が一致しました。

日本共産党 都議会議員
和泉なおみの
さわやかレポート
NO.77 2023.02

和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8
TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851